

甲佐町議会だより

第88号

平成11年4月26日



清流

発行 熊本県上益城郡甲佐町大字岩下194 甲佐町議会 ☎(096) 234-1111 編集 議会広報編集特別委員会

こどもは町の宝
21世紀に向かって
はばたけ!



町の顔シリーズ

若草保育園

改選後の初議会 新体制がスタート 2～3 P

平成11年度 91億4,403万円でスタート!! 4 P

町民一人に41万円使います 5 P

教えてください 今年の実業の主なもの 6～7 P

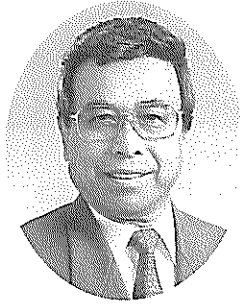
あなたにかわり町の考えを聞く 一般質問に7人 8～14 P

これだけはきいておきたい Q&A 16～17 P

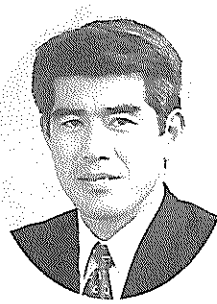
傍聴席から一言 全国議長会表彰4人 18 P

境 国嗣氏

副議長に岩村辰雄氏



岩村辰雄 副議長



境 国嗣 議長

議会構成も新たに

改選後の初議会で新体制がスタート!

甲佐町議会改選後の初議会が、さる三月一日に招集され、まず、議席の決定をおこない、次に議長、副議長の選挙の他、三常任委員、議会運営委員、議会広報編集特別委員、広域連合議員、一部事務組合議員等をそれぞれ選任し、新しい議会構成のもと新体制がスタートしました。

町民の立場に立った議会運営を

議長 境 国嗣

就任ご挨拶

本町議会の改選に伴い三月一日に行われました臨時議会におきまして、議員の皆様方の御推挙により、甲佐町議会の議長の要職に就く事になりました。

私は、本町議会議員として、その経験も浅く、また浅学非才でありまして、責務の重大さを痛感いたしております。

ここに議長を受けましたうちは、本町の発展と町民福祉の推進に誠心誠意努力

をいたす覚悟でございます。

我々議会といたしましては、いたずらに摩擦を起こすようなことはもとより避けなければなりません。同時に安易な妥協に陥る事があつてはならないと存じます。

町民、町発展のうえに立って、正しく相たずさえて甲佐町民の負託に応えなければならぬと考えております。

四月より上益城広域連合が、スタートいたしました。

平成十二年四月より介護保険も始まります。福祉、教育、環境、財政問題等、多くの課題が山積しておりますが議員各位と一緒に頑張って研鑽を重ね努力をしてまいります。

町民の皆様におかれまして、より一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。議長就任のご挨拶いたします。

が、スタートいたしました。

◆議会広報編集特別委員会

- 委員長 本田昭一
- 副委員長 高木英吉
- 委員 佐藤義郎
- 奥名克美
- 本田 新

議会広報編集特別委員会を
設置

議会ではこれまで町民の皆様

に議会だより「清流」を通じて議会報告をおこな

なっていました。今後も議会広報の手段としてそ

の編集および調査の必要性から議会広報編集特別委員

会を再度設置し、委員長に本田昭一氏を選任、副委員

長に高木英吉氏をそれぞれ選任しました。



議会運営委員会



代表監査委員
福永和彦氏 (和田内)

監査委員

(識見選出) に福永和彦氏
(議会選出) に北林誠楠氏



議会選出監査委員
北林 誠楠氏

議長に

各常任委員長には北畑氏(経済・建設)、中村氏(文教・保健)、奥名氏(総務)を議会運営委員長には、佐藤義氏をそれぞれ選任した。

- 議会運営委員会
- 委員長 佐藤義郎
- 副委員長 奥名克美
- 委員 西坂 親
- 中村幸男
- 本田昭一
- 高木英吉

■上益城広域連合議会議員

- 西坂 親
- 境 国嗣

■上益城消防組合議員

- 中村幸男
- 奥名克美

■御船町・甲佐町衛生施設組合議員 (クリーンセンター)

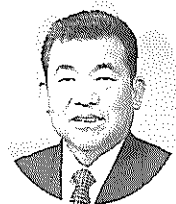
- 北畑常博
- 佐藤良一

■御船地区衛生施設組合議員 (尿尿処理場)

- 佐藤義郎
- 高木英吉

初の上益城広域連合議員には 境 議長・西坂前議長が就任

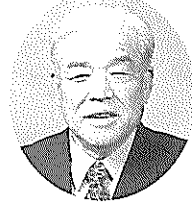
総務常任委員会



佐藤良一議員



境 国嗣議員



大久保勝三議員



西坂 親議員

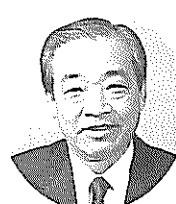


本田昭一副委員長



奥名克美委員長

経済建設常任委員会



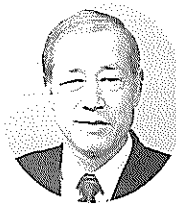
山内 勲議員



北林誠楠議員



佐藤義郎議員



田上益男副委員長

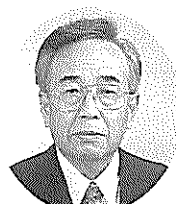


北畑常博委員長

文教保健常任委員会



本田 新議員



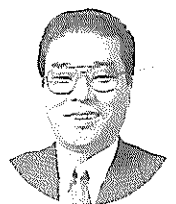
吉村孝義議員



岩村辰雄議員



高木英吉副委員長



中村幸男委員長

3月定例会は、3月12日に開会され、平成10年度各会計補正予算や平成11年度一般会計ほか各特別会計予算・条例案件など32議案を審議し、また、一般質問は7人の議員が登壇し活発な意見が展開された。その結果、地域福祉基金の処分については総務常任委員会に付託して閉会中の継続審査とし、平成11年度一般会計予算の中で保健福祉センター建設事業費については予算の執行をしばらく凍結すること以外は全て原案のとおり可決された。

3月定例会

平成11年度 一般会計・特別会計

91億4,403万円で スタート!!

甲佐町各会計別予算の推移

会計名	平成9年度	平成10年度	平成11年度
一般会計	53億0,345万円	48億3,590万円	51億0,407万円
国民健康保険会計	13億3,576万円	12億1,596万円	13億7,313万円
老人保健会計	22億7,382万円	24億8,813万円	26億1,359万円
有線放送会計	4,470万円	5,397万円	4,866万円
住宅新築資金会計	542万円	533万円	458万円
合計	89億6,315万円	85億9,929万円	91億4,403万円

(水道企業会計 1億4,046万円を除く)

基金条例の手続きミスで予算凍結

保健福祉センター建設遅れる？

町長の減給提案は否決

福祉基金の一億円の処分は継続審査！

3月議会において、執行部の条例上の手続きミスで議会が紛糾した。本年度に計画されている保健福祉センター建設に伴う財源として、福祉基金から一億円を取り崩す予算書が町長より提案された。しかし、基金の取り崩しは「議会の議決」が必要であり、その議案が町長より議会に提出されていないことが指摘された。

町長は改めて「福祉基金の処分について」を追加提案、「新年度一般会計予算」の再提出により審議が再開された。

議会では保健福祉センターの「サウナ風呂」の必要性や利用状況、町民の健康づくりに「温水プール」の設置を考えたかどうか

ど執行部の考えを質し、「福祉基金の処分について」は3月議会では結論が出ず、今後とも継続して審査が必要であるとして閉会中の継続審査として総務常任委員会に付託された。よって、保健福祉センターの着工は当初予定より遅れることが予想される。

なお、町長はこの手続きミスに対する責任として、自らの給料を3カ月間10%カットする条例改正案を提出されたが、平成3年9月より町長就任後、過去5回の減給処分を承認しており、議会としては、減給で済む問題ではない「今後、町のトップとして責任ある行政を求めろ」として減給処分案を否決した。

陳謝

3月定例議会において保健福祉センター予算の建設財源として計画していました地域福祉基金の一億円の処分につき、条例上の手続きを怠っていた為、議事を混乱させ、町民・議会に大変ご迷惑をおかけ致しましたことを心よりお詫び申し上げます。

保健福祉センターの建設予算については、議会として総務常任委員会に付託され、継続して審査されることになりました。町としてはその結論を待つことと致します。今後、町執行部と致しましても当該施設の建設に関する手続きを踏まえ条件を整備し、早急に建設出来るよう努力致します。

町長 村上 彪

町民一人に41万円使います

町税負担は一人5万8、930円

平成11年度の一般会計予算の総額は51億407万4000円で、前年度と比べて2億6、817万円の増となっております。

場合、町民の皆さんのために使われるお金は40万6、601円で、負担していただく町税は5万8、930円となります。

これを町民1人当たりの人口（3月31日現在）で見

歳出を目的別に分けたのが左の図ですが、前年度と

比較すると道路・住宅、借金返済が伸びています。また皆さんに負担しているただくお金と使われるお金の差額は、地方交付税や国・県支出金、町債などで補われます。

農林業に
39,494円



保健衛生に
86,827円



児童・福祉に
76,765円



消防活動に
16,800円



道路・住宅に
37,258円



商工・観光に
7,103円



借金返済に
43,899円



議会活動に
8,403円

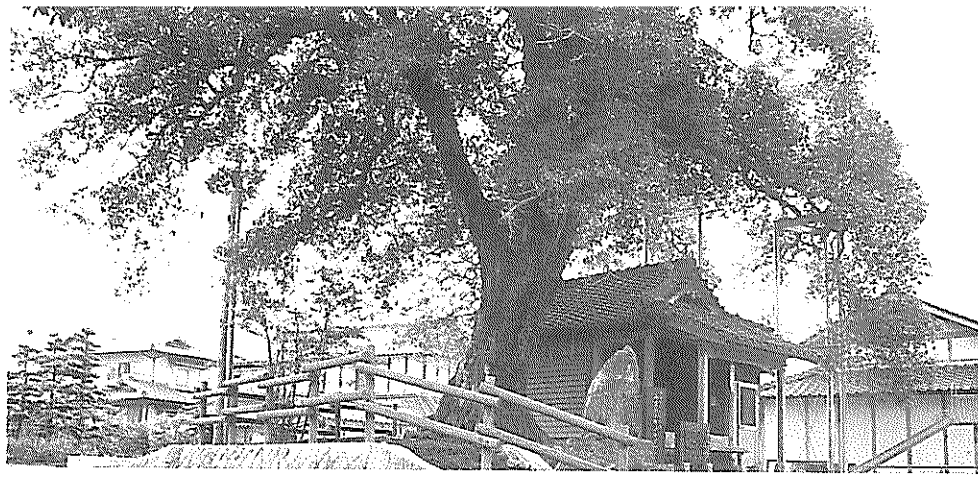


教育のために
37,087円



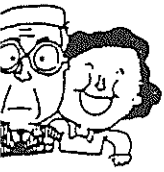
下さい

着々と環境整備が進む日本一
きんもくせい周辺



麻生原きんもくせい 周辺整備事業 4,107 万円

木の大きさでは日本一の折り紙が付き、国の天然記念物に指定されている麻生原地区のきんもくせい周辺を整備して観光客の増加を図る。



の主なもの



満 6 歳未満児まで 入院費用無料化 960 万円

従来、満 5 歳未満児までの入院医療費(通院は満 4 歳未満児まで)無料化していたが、今年 4 月 1 日より満 6 歳未満児までの入院医療費(通院は従来どおり)に無料化が拡大された。



改良が進む岩下益城橋線

町道改良舗装事業 2 億 9,086 万円

本町の道路網整備の為、町道岩下益城橋線ほか 7 路線の道路改良舗装を計画。

消防施設整備事業 3,760 万円

町民の生命・財産を守る消防の充実とは、機動力・防火水利・団員の確保と言われている。その充実の為、小型動力ポンプ 1 台・消防格納庫 2 カ所・防火水槽 3 基・消火栓 3 カ所を整備する。



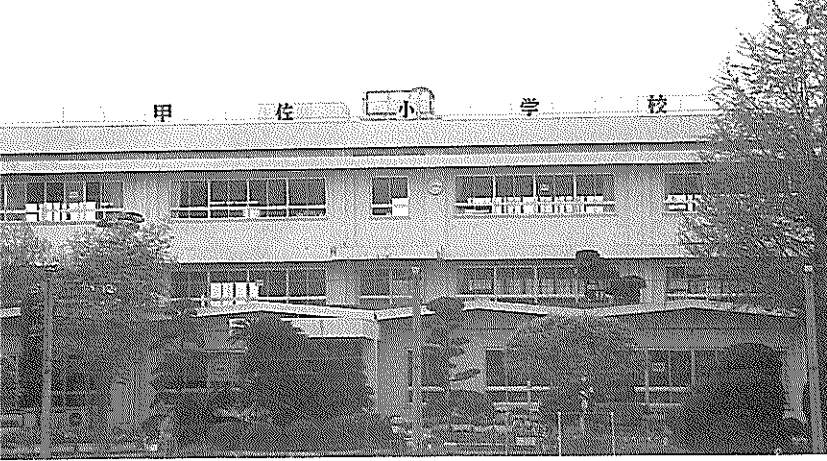
本年 3 月に完成した岩下消防格納庫

教えて



今年^この事業

パソコン教室の改修が始まる甲佐小学校



小学校・中学校
教育施設整備
6,150万円

本町の小中学校の教育施設を充実させ、時代に即した児童の教育を推進出来るように、小学校のパソコン教室への改修や中学校のトイレ整備、宮内小の体育館倉庫などを計画。



快適さを目指して買い替えられる町営バス

自然満喫
人にやさしい快適バス購入
810万円

乗車人員は年間3万人余り、運行収入も年400万円弱で運行している町営バスは平成4年に購入し、毎日休みなく運行しているが最近故障も多いため、新たに買い替える。



本年度完成する船津農道

船津・芝原
農道改良事業
4,011万円

昨年に引き続き船津農道（延長1,046m、幅員4.5m）を実施し本年度完成を目指す。また新たに芝原農道（延長705m、幅員4.5m）を着手し来年度完成を目指して、農村基盤整備を推進する。

活性化センターなど
事業費47億円を採択

本年度から平成17年度完成を目指し、広域型の新規事業として事業費総額47億円の事業に着手する。上益城中山間総合整備事業33億円（甲佐町・御船町・益城町）と乙女大沢水地区農免農道整備事業（甲佐町・中央町）14億2,400万円の多額の費用を要する近隣町村と連携して実施。

県営の水環境整備事業
で見事に
大井手川
よみがえった





「一般質問」と

「答弁」

第1回定例会の一般質問は3月18日と25日の2日間にわたり行い、7人の議員が登壇、町の施策をただした。

六歳未満児までの医療費の無料化について

佐藤義郎議員

今後できるだけだけの支援を

検討する

町長

佐藤議員

町長は医療費問題について、年次的に解決して行くと言ってきたが、現在、六歳未満児の医療費の無料化が実現されていない。今日の子育ての問題状況から、せめて六歳、学校に行くまでぐらいの医療費の無料にするというのは、子育てをやっている若い父母にとって大きな子育て支援になり、

最重要だと思う。又、高齢化社会と少子化社会、この問題は明確に区別する考え方が必要であり、先ず六歳未満児の医療費無料化について、ただちに実行しては？

町長 医療費の無料化については今後、できるだけだけの支援を検討して行きたい。

負担金・分担金による支出の根拠は？

佐藤議員

多額の金額であり今後検討したい

総務課長

佐藤議員

歳出で負担金、分担金の数が180種類もあり、金額にして3億8,000万ほどである。特に負担金について、具体的に、法的根拠は何であり、削減できないのか？

総務課長

負担金が180件あるが、後十分検討したい。

法的根拠に基づくのは例として、河川法による工事・道路法による工事に町の負担があり、又、団体としての構成の町村間で決められた負担割に基づいて負担をするもの、さらに、各種協議会等の負担金がある。非常に多額の金額であり、今後十分検討したい。



少子化を迎え子育て支援策は？ (若草保育園)

保育料の三割軽減について

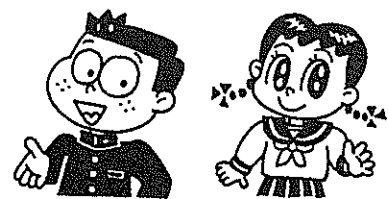
佐藤議員

研究して行きたい

町長

佐藤議員 今日のエconomic状態、子育て支援の点から、保育料は高いと思う。子育てをやっていく上で、保育園はぜひとも必要なものであり、保育料の少なくとも三割程度、軽減できないのか？

町長 意見を踏まえながら研究したい。



さんじ休憩



先日、小学校の入学式に出席して先ず感じたことは、入学児童の少ないことである。式が進行する中で児童の顔と服装を見ると、セーター、ジーパンなど色とりどりで、どの児童もアカ抜けていて映画のスクリーンのかわいい子役の顔である。

私の記憶では、自分の入学時には皆同じ制服を着用し、上級生になっても着れるように上着、スカート、ズボンの袖、スソをあげ身につけていた。戦後まもない時代で経済状態も悪く、質素を美德とした時代だったかも？

児童達が同じ制服を着た入学式をもう一度見たいものである。

政治家としての
基本施策は！

中村幸男議員

住民の安全・福祉等を
基本理念とする

町長

中村議員

町長の2期目について、本町発展、活性化に期待し微力ながらも信念をもってお手伝いして来たつもりだが、町民の声では町に活力がなく、これから先のビジョンがないという言葉が聞いている。町長の行政執行と政治家としての基本施策をお尋ねする。

の中で福祉基金の取り崩しがあるが、これは議会の議決を経て処分するという条例が制定されているのをご存知か。

町長

議会の議決の重さを知りながら、福祉基金の件については手続きミスを起こし混乱を招いたことにお詫びし、今後チェック機能の強化をやっていく。

地方自治法第2条の地方公共団体の秩序を維持し住民の安全、健康及び福祉の維持を基本理念としてきた。たしかに他町村と比べるとハード事業等で甲佐には何もないと指摘を承っているが、ソフト面に於いては他町村には負けてない。

福祉基金の

取り崩しについて

中村議員

平成十一年度の提案理由



クリーンセンターの
職員採用について

中村議員

急いでいた！
今後は公募したい

町長



保健福祉センター予定地

中村議員

御船町甲佐町衛生組合の人事で、現在の就職難の時代に公募もせず、また役場の係長クラスの職員も考えず、衛生に関する資格もない人を参事クラスとして採用されたと聞くが如何なものか。

町長

人事については町長間に於いて組合で雇うという取決めをした。

当件については、職員あがりを探したが急いでいた関係で採用した。

今後、職員採用については公募したいと思う。

乙女地区の花の
選別機に助成を

中村議員

体制を整えば
予算を計上したい

町長

中村議員

基幹産業の中で生産高が高い花卉園芸であるにもかかわらず、乙女地区の花の選別機の要望に答えられない。農業に支援なしでは町の発展はないのでは。また農業ビジョンについてはどうなっているか。

町長

基幹産業であり支援して行きたい。選別機については、いつでも補正できる。農業ビジョンについては農業推進協議会に提出している。

経済課長

船津地区の第2花組合のことと理解しますが、共同出荷等についての組織づくりを詰めて欲しいと町長より指示があった。

他に早川地区の443号線の用地買収について、岩下益城橋線について、保健福祉センター建設推進協議会の委員について質問がありました。



ガーベラの出荷に忙しい船津地区

五色山開発の
その後は

西坂 親議員

民間資本による
開発を考えた

町 長

西坂議員

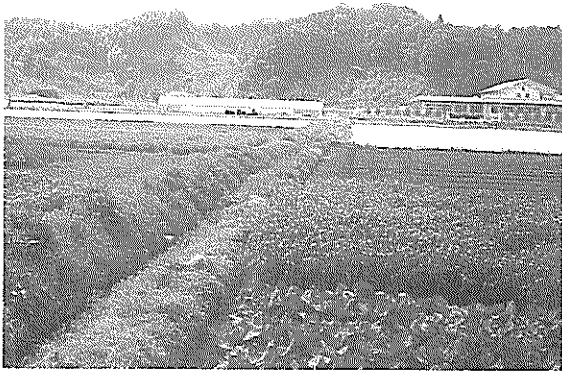
過去に於いて、甲佐町の財源づくりに乙女の五色山の開発による住宅政策に政治生命をかけるということ
でなされた。

その時、職員は昼夜を問わず地権者を廻って90数名の同意を取り付けた。その開発の時点で民間の開発申出があつたが、町長は第三センターで行くと言われた。しかし三年前に開発を断念され議員各位にお詫びされ

た経緯があるが、その後、住宅政策について住宅マスタープラン等を作り町長自ら民間企業等に交渉されたかどうかをお尋ねしたい。

町長

五色山の件については、残った用地交渉が難しく第三セクターを導入したいと申した事を記憶している。現在、東京の民間出身の方に五色山を開発したいと申し出があり、町としても何らかの方法で支援したい。



民間資本による開発を期待する五色山周辺



県代行事業で改良されている中央町

岩下益城橋線は
県代行となるのか?

西坂議員

県に大きな
窓口ができた

町 長

西坂議員

昨年九月に県に陳情に行つた際、岩下益城橋線の県代行事業は駄目と言われても町長は諦めていないといわれる。このまま事業が進むと町の負担が三割のままで行くという重大な問題がある。町として釈迦院ダム建設反対の立場という桶を使つて代行事業の話をすべきだと言っているのにも関わらず町長は動いていない。どういう気持ちで

られるかお尋ねする。

町長

この件は日六年から出発して、当時県代行折衝していた県の方が次長になられたことは大きな窓口と思つている。中村議員の指摘の様に国会議員も使つて負担が軽くなるようにしたい。また西坂議員が言われる方法についても、今研究している。

農協支所跡地利用を
どう考えるか!?

西坂議員

福祉の拠点として
考えたい

町 長

西坂議員

農協支所の跡地利用で、健康福祉センターに繋がる支所的な拠点が必要ということ、町長も前向きという回答であつたし、議員各位の了解の元、公共用地として買取すべきと議決をした。しかしながら対応が遅

他に保健福祉センターに通ずる新設された橋の設計料のことについて質問がありました。

れ乙女支所については個人の方が購入されたと聞く。これまでの経過、今後の姿勢を確認したい。

町長

農協支所の購入についての議会決議は感謝している。乙女支所については、議決後交渉に入ったが売れてしまった。

介護保険に向かう中での福祉を考える時、地域に拠点を作るべきである。ソフトが大事であるので、それが出来上がつて皆様に説明し購入交渉をしたいと農協長と話をしている。



JA 竜野支所跡 利活用できるか?

山間部の 水資源の確保を

北畑常博議員

計画・立案してみたい

町長

北畑議員

六谷や宮内地区の山間部の水資源の問題で、砂防ダムを作り、治水ダムと併用して水資源を確保してはどうか。

町長

以前には困難でむずかしいと思ったが、水不足が心配されるので、さっそく計画立案してみたい。

本町財政の現状と 今後の展望を 明らかに

北畑議員

大変きびしい

町長

北畑議員

町長は三選をめざすというが、本町の財政の現状と二十一世紀に向けての展望を明らかにせよ。

町長

本町財政の状況は、歳入が四八億から五〇億で推移しており、一般財源の大半を占める交付税と町税が不況下で、微増にとどまっている。

その中で、義務的経費が大変増加し、建設的経費が抑えられている。経常比率が83%で、財政構造の目安とされる75%を超えているので、大変きびしいと考えている。

部活や体協の指導者に 優秀な人員を!!

北畑議員

某社の陸上部の コーチを打診中

北畑議員

北畑議員

甲佐には公認の、十マイルロードレースがあるが、中学生や高校生、一般の人も含めて、あまり選手は育っていないのではないかと。よい指導者がいてコーチするのなら、優秀な人も育つのではないかと。

教育長

陸協や中学校のPTA、

中学校の改築を望む

北畑議員

施設課と 研究を進めている

教育長

北畑議員

甲佐中学校は、絆創膏をはったような状態で何回もあちらこちらと修理してきたし、運動場の問題もある。もうそろそろ建てなおす必要があるのではないかと、教育委員会はどうしようか、

教育長

中学校の建物については、色々といまでも指摘されていますが、県教育委員会の施設課と研究を進めている。

他に学校教育のありかたについての質問がありました。



サッカーの練習に励む甲佐中学校生徒

本町農業の基本方向と 展望をどう考える

佐藤良二議員

花卉園芸と果樹中心に
展開したい

町長

佐藤議員

新農業基本法の制定に基づく米の生産調整の強化、関税化など大変な時期に直面し、町長として本町の農業の将来像についてどう考えているのか？

町長

日本農業は国際化、高齢化、後継者不足、農産物の価格の低迷などきびしい環境にある。

しかし農業は本町の基幹農業であり、どうにかして農業を支援して活性化をはかって行きたいと考えている。本町としては、花卉園芸果樹を中心に展開する必要があると考えている。

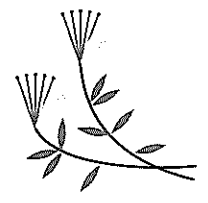
経済課長

国で食糧問題を始め、農業基本法が間もなく制定される。その基本理念をもとに、町の営農協議会なり、構造政策推進会議にも出して、皆さんの意見を集約して作り上げつつあるところ

で、今最終的修正をしているところである。



苗床づくりの為の植付のジャクジャクすくすくする花卉園芸家 (船津)



専業農家の 労働力対策には？

佐藤議員

調査研究する

町長

佐藤議員

専業農家の生き残り策として、人材銀行、ヘルパーを活用して労働力不足の解消を、経済課が農業委員会で検討して戴き、花卉や果樹の農繁期に於ける人手不足をなんとかならないかと思うが、対策はどうなのか？

経済課長

専業農家の労働力対策で人材銀行は農家全体の課題と思う。

労働力を提供できる人材は町には沢山おられ、今後、区長さんや農業委員会を通じて調査し検討したい。

緑川堤防沿いに 桜並木の再現を

佐藤議員

建設省次第である

町長

佐藤議員

乙女の桜塘が完成したと聞いている。

緑川沿いに、甲佐神社から有安の塘まで桜並木にしたらどうか。

この事業は津志田の継続事業として出来ないものか。経済課長

乙女の桜塘は、町が用地

を買収し、建設省が御船川の改修残土を盛って桜を植えたもので、一応終わった。問題は建設省が新たに認めるかどうか、また町が用地買収出来るかの二点にある。

町長

建設省とのからみあいがあるので、検討課題として研究したい。

畜産農家の 糞尿処理対策は？

佐藤議員

検討したい

町長

佐藤議員

畜産農家の堆肥が野積になり、環境問題にもなっている。町として何とか対策はないか。

町長

先の農業推進協議会で、農地への堆肥の還元というか、循環農業というか、問題になり、町としてどんな支援が出来るか検討致したい。



ベンチが設置され今年3月に完成した津志田の桜つつみ

水田の排水路、生活排水路対策は？

田上益男議員

農業農村整備事業

計画書に計上

耕地課長補佐

田上議員

水田の基盤整備事業より長年経っているので、各地で弊害が起きている。転作に利用している土地の排水問題で不良作となっている。幹線水路を広げる等の対策を求める。

耕地課長補佐

指摘の排水路について調査をした。

大規模になる為、町の単独事業では難しい。管排事業、管内排水事業

の制度事業として県の方に申請している。

田上議員

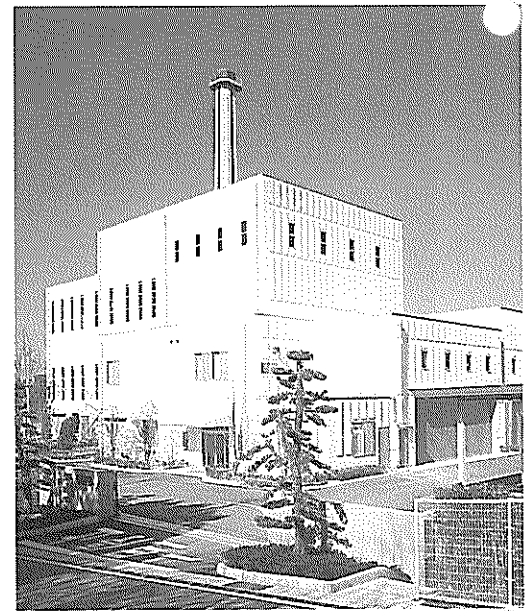
市街地の生活排水路について、ドブドブの排水路も含め、三つの排水路について速やかなる改修が必要ではないか。

町長

三つの排水路の改善についての質問ですが、今後十分に調査して早急に改善策を立てたい。



再々にわたり改良が叫ばれる仁田子～大町間用水路



ダイオキシン対策が必要なクリーンセンター

クリーンセンターの焼却灰とダイオキシンの汚染度は？

田上議員

現在、規制値を守っている

町長

田上議員

最近、テレビの報道等でダイオキシンを含む有害物質の発生が気になる。

甲佐、御船のクリーンセンターの現状と運用状況はどうなっているか。

町長

昨年夏の測定によれば80ナノグラムで規制値内であった。現在は、さらに改良が進んでいる。しかし平成14年には10ナノグラムの規制値です。これをクリアする為には大牟田市に委託するか、施設を改善す

る必要がある。いずれにして予算の問題がある。

田上議員

最終処理場の水質調査とダイオキシンの調査を実施したのか？

保健課長

昨年閉鎖した最終処理場の地下水、及び排水の調査の結果は異常なしであった。

田上議員

焼却灰については、廃棄処分できないので八代市に委託処分をお願いしておりますが、その必要経費は。

保健課長

八代市のクリーンアメニティにお願いしているが、年間二五〇〇万ぐらいである。

マスタープラン構想の進捗状況は？

田上議員

北早川区に第一号完成

企画課長

田上議員

甲佐町の財源は、住宅政策による人口増をもって確保したいと町長の考えですが、その現状を知りたい。

企画課長

住宅マスタープランの基準に適合した16区画が北早川区内に完成した。



住宅マスタープランによる補助を受け16区画完成した民間分譲地(北早川地区)

田上議員

町内には、遊休地が各地に見られるが、町としての有効利用、また企業の誘致の考えは？

町長

遊休地については、カタログを作ってPRをしている。全力を尽くし努力したい。

子育て支援策は？

本田昭一議員

遊び広場とスポーツ広場の整備を考えた

町長

本田議員

本町において高齢化社会が進んでいるが、それを支える若い力が必要である。そうした若い世代に対して子供を育てる環境をつくる事が非常に大事だと思うが、今後町の子育て支援をどう進めるのか。

福祉生活課長

出産時において、育児現金30万円、そして月々児童手当があり、第三子以降の子供に対して出生祝金として5万円の支給を行っている。

保護者の就労形態の変化に対応して保育所の延長保育があり、又、保育所の地域活動、障害児保育事業もある。

平成10年度より第三子以降の保育料の半軽減を含めた支援事業も進めている。

町長

就学児童の持つ問題を解決する為に、相談業務等の

カウンセリングを行い、子供の為の遊び場やスポーツ広場の整備の構想を持っている。

不法投棄の現状と対策は？

本田議員

町内に20カ所の投棄場所がある

保健課長

本田議員

環境問題の一つに不法投棄があるが、本町における不法投棄の現状とその対策を聞きたい。

保健課長

本町には、およそ20カ所の不法投棄場所を把握している。産業廃棄物をまとめて廃棄してある所もある。対策として、

投棄防止の看板の設置や有線鉄線や金網による防止柵の設置がある。撤去については、ボランティアによる

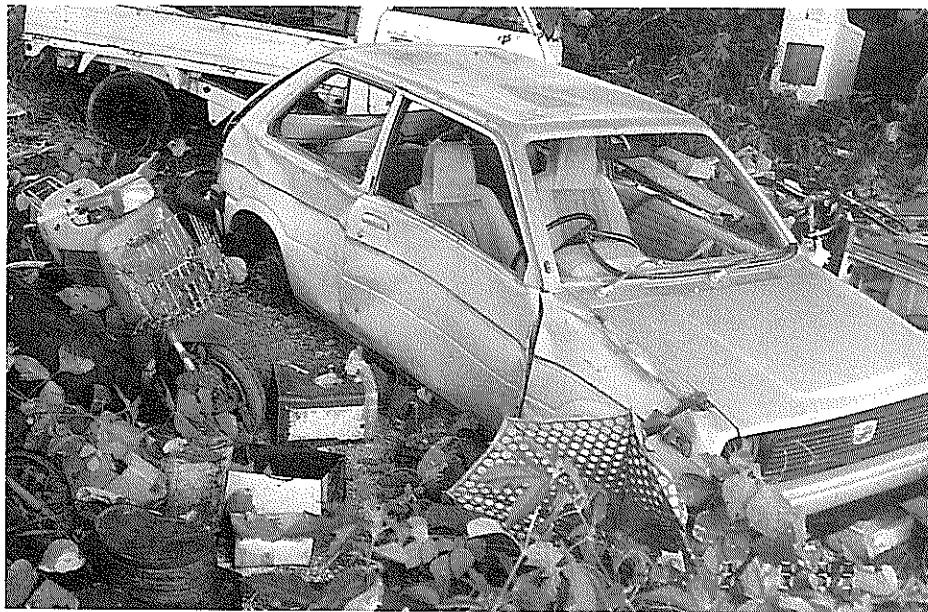
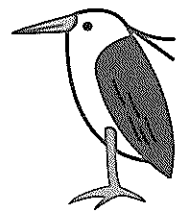
協力や回収予算の計上を考えている。

本田議員

防止策として法的措置は考えないのか？

保健課長

その点については、まだ勉強不足であるので、今後勉強すると共に警察や保健所の御指導を仰ぎたい。



自動車、バイク、洗濯機など粗大ゴミの散乱している船津河原



町長の指導力が叫ばれる役場庁舎内

町長の政治姿勢と手腕に疑問？

私の努力不足と思う

本田議員

町長

本田議員

町長の指導力の欠如による執行部内に問題があるのではないかと。町長と課長の間に支援態勢がない様に思われる。

町長

執行部の長として努力不足があったので反省している。今後、部下から信頼されるようになりたい。

本田議員

町長は三役の不在が財源

対策になると言われた。又、職員がここ数年で多数退職するので多額の財源が削減されると言われるのは、管理者として言動を慎むべきではないのか？

町長

そういう意味で言ったのではない。今後、言葉に注意する。

三役については、町として必要であるので議会と話し合っ行ってきたい。

一般会計補正予算 (第5号)

**合併処理浄化槽設置補助金など
(景気対策) 1億9,178万円を繰り越す**

3月定例会において一億八、八四四万四千円の減額補正予算が提案され、全員一致で可決された。補正予算の主なものは、平成11年度への繰り越し事業として、地域振興券交付事業、合併処理浄化槽設置整備補助金、町道改良事業など一億九、一七八万円の繰越明許費予算と年度末の調整などが主な補正予算である。

補正予算の主なもの

(繰越明許費)	
地域振興券交付事業	77,234 千円
合併処理浄化槽設置整備補助金	37,065 千円
団体営農道整備事業	25,595 千円
町道改良舗装事業	35,271 千円
中学校パソコン室改修事業	16,616 千円
(その他補正予算)	
財政調整基金繰入金	△ 144,271 千円
まちおこし基金繰入金	△ 10,000 千円
特老ホーム入所措置費等	15,560 千円
乳幼児医療費扶助	598 千円
合併処理浄化槽整備補助金	7,080 千円
住民検診委託料	△ 4,575 千円
保健福祉センター造成工事費	△ 7,400 千円
水環境整備事業負担金	10,090 千円
川平キャンプ場施設備品費	1,821 千円
町道新設改良費	△ 62,999 千円
地域改善対策事業費	△ 24,340 千円
町営住宅補修工事費	△ 6,000 千円
中学校パソコン室改修費	16,616 千円

新しく条例が改正されました

◎満6歳未満児まで入院費用が無料へ！

今まで満5歳未満児まで入院費用を無料化していましたが、平成11年4月1日より、更に年齢の引き上げを行い満6歳未満児までに対して入院費用が無料化されることになりました。ただし、今年度からは医療費助成の申請は保険医療機関からの申請を廃止し、保護者からの申請となりました。

◎甲佐岳登山口に新しいキャンプ場完成！

さる3月、宮内校区の甲佐岳登山口に当たる広瀬地区に地域住民と都市との交流を深める為の交流施設として、宿泊施設及びキャンプ場が完成した。これは川平キャンプ場と名付けられ4月よりオープンした。利用者の申し込みは教育委員会が受付を行い、宿泊費は1人当たり2,000円(小学生以下1人1,000円)です。

◎甲佐幼稚園の定員を削減！

甲佐幼稚園は、昭和48年に設置し定員120名で運営してきたが、昨今の少子化傾向による幼稚園入園児の減少により、定員を30名減少して本年4月1日から定員90名に改正されました。

これだけは まいておきたい

今期提案された条例6件および各会計
予算案について審議がなされ、以下審議
の論点を要約してお知らせします。

論 点

条例・予算審議より

Q & A

**地域振興券！
町単独の発行計画は
ないか？**

Q 1 地域振興券の支給対象外
の町民に対して町単独で地
域振興券を発行する計画は
ないか？
A 1 町としては現在のところ
単独の振興券発行は考えて
いない。

**川平キャンプ場が
完成！！**

Q 2 宮内校区に川平キャン
プ場が完成したが、場所選定
にあたってはどういう理由
で当地区を選定されたのか。

A 2 地域との連携を考え、甲
佐岳と山村振興、地域との
交流を考えて現在地を選定
した。

Q 3 川平キャンプ場の名称は
どのようにして決定したの
か、他に広く親しまれるよ
うな施設の名称は考えられ
なかつたのか。

A 3 山村振興協議会で決定し
たが、今後、愛称を検討し
たい。

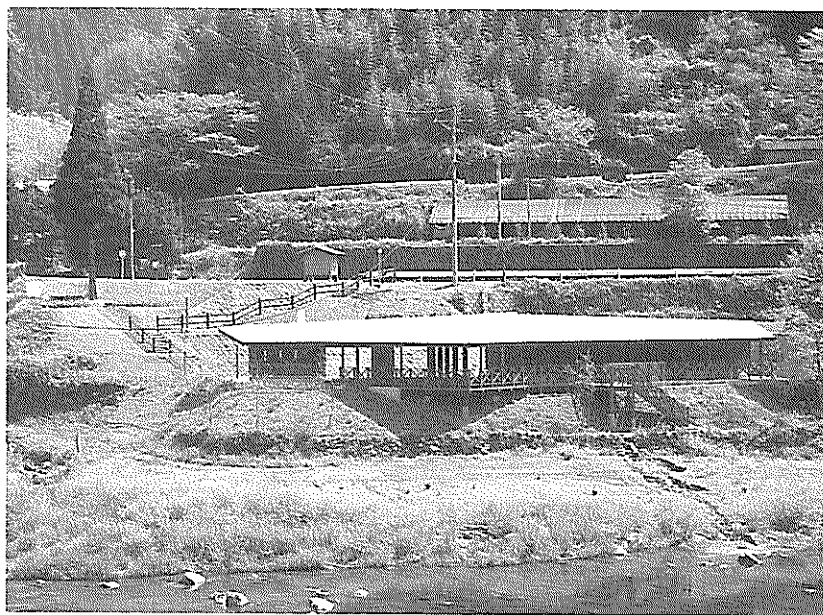
Q 4 山村振興と川平キャン
プ場設置とどうつながるのか
理解に苦しむが、住民と都
市生活者との交流を具体的
にどう進めるのか、また井
戸江峡キャンプ場の利用状
況も併せて尋ねる。

A 4 山村振興事業の指定は、
交流施設として指定を受け
たものであり、体験コース、
タケノコ掘り、山芋掘り等
について今後検討していき
たい。また井戸江峡キャン
プ場の利用状況については、
施設利用の70%が町外から
の利用者であり、利用グ
ループとしては、子供会、
部落単位、家族単位の利用
が多い。



**国民健康保険特別会
計の財政運営に甘さ
はなかつたか！**

Q 5 国保会計で平成3年度に
は、1億7,000万円あっ
た財政調整基金が平成10年
度では3,400万円しか
ない。もう基金の取り崩し
は限界であり、国保会計の
運営に甘さがあつたのでは
ないか。また、緊急時には



今年4月よりオープンした川平キャンプ場（広瀬）

緊急している国保会計運営
に一般会計から繰り入れて
まかなえるか？

A 5 国保会計の運営が甘かつ
たと反省している。平成11
年、平成12年度の税率アッ
プも考えていく。また、緊
急の場合は一般の医療費に
対しては一般会計からの繰
入れは望ましくないが、赤
痢等の異常事態には一般会
計からの繰り出しも考えら
れる。

Q 6 老朽管更新事業が毎年行われるが、現在までの更新された路線の延長はどれくらいか？

A 6 石綿管の総延長1万8、212mのうち4年間の実績で3、703mが更新されたが、まだ1万4、509mが更新されていない状況である。

Q 7 町の単独事業として実施されている教育カウンセラーに教職員経験者だけでなく、民間人の登用も必要ではないのか。

A 7 必ずしも教育出身者にこだわっているわけではないが、児童心理など系統的な教育を受けた教職経験の方に現在はお願している。



老朽管更新事業が進められる上早川地内

老朽管更新事業の進捗状況は？

教育カウンセラーに民間人の登用を!!

通学路の街灯の増設をせひ!

Q 8 県道稲生野甲佐線の甲佐中周辺の街灯設置が、浅井方面と横田方面になされたが、まだ不十分な箇所もあり、学校関係者、PTAから陳情書を提出されていると思う。町当局としてどういう対応を考えているか。

A 8 甲佐高校から立岩間付近については、電柱等もあり、あと数箇所、増設可能なため検討している。他にも暗い箇所があると思うが、町のほうで少しずつ実施している。

乳幼児医療費助成が引き上げ

Q 9 乳幼児医療費助成の条例改正により実施される時の費用と対象者について問う。

A 9 条例改正により対象者は100人位、金額にして20万円程度を見込んでいます。

幼稚園の定数が削減!

Q 10 今回幼稚園の定数を120名から90名に削減されるわけだが、その理由を知りたい。

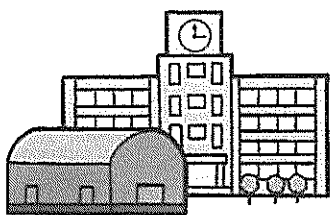
A 10 以前は40名定員の3学級の120名で実施していたが、現在の少子化現象等にも伴い1学級35名以下という幼稚園の設置基準の改正があり、それにならって今回定数を90名とした。

中山間地域総合整備事業(県営事業)で甲佐町には11億円の事業を投下

Q 11 上益城三町(甲佐・益城・御船町)で33億4、000万円の事業が中山間地域総合整備事業のなかで取り組まれるが、当初計画よりもいからか事業費が減少したのになつてゐる。仮に他町

で計画されたものが実施にいたらなかった場合、本町へ配分がありカットされた事業の推進が出来るものかどうかたずねる。

A 11 箇所については、一箇所ずつ査定を受けており、他の地区を持つてくるという事は、現在のところできないかと思うが、後で計画変更等についてはできると思う。



条例改正で定数が削減された甲佐幼稚園の授業風景

傍聴席から一言



井芹 辰真 (糸田)

ひよんなことから首を突っこんだ地域社会学。参考文献を読みあさる中で接した細川護熙前知事の「雛の論理」。

それを実感しようと、その実体験の場を自分自身に親近感のもてる我が町の議会傍聴席に求め、虚心に議会の動向を覗いてきたところだが、このたび「傍聴席から一言」を書けと言われて、素直に書こうと思う。

町民のほやき、どうやらかなり深刻だ。町の所々方でささやかれている住民の声もおだやかではない。地方自治体の本旨は住民自治。今日の行革の主眼は「自己決定権の確立」となれば住民の意志は最大限に尊重されなければならないということになる。

この3月議会傍聴席のつぶやき、そのものズバリ、狂句に詠めば、

- 度が過ぎる 見て見ぬふりも もう限度
 - ハッキリと 条例読んで 見てごらん
 - 空しいねえ どしこ言うても 糠に釘
 - もうよかる スパッと本音 いいなっせ
- ということになる。

さしずめ、主権者たる町民は冷めた眼で、一鳴りをひそめジッと成り行きを見つめとる一のである。

おめでとう！ 全国議長会表彰

さる3月定例会の開会日に、全国町村議長会の永年勤続表彰状が伝達された。

この表彰は議員在籍15年以上の町村議会議員に対して行われ、本議会からは佐藤義郎議員、北畑常博議員、西坂親議員、金柿啓一郎前議員が表彰された。



西坂 親議員



佐藤 義郎議員



金柿啓一郎前議員



北畑 常博議員

議会だより新編集委員メンバー



熱心に編集作業に励む新編集委員メンバー

頑張ります!!

議場の雰囲気を目と耳で

第2回定例会は6月中旬頃から開かれます。お気軽に傍聴においでください。

編集後記

議会広報「清流」の編集スタッフは5名です。

議員の改選に伴い、3月から編集スタッフが変更になりました。今まで4年間にわたり広報紙づくりに汗をかいた2名の委員が退き、新たに2名の委員が任に着きました。スタッフ一同は町民の皆様に「読みやすく、親しみ易い広報紙」づくりを目指して一生懸命に編集作業に努めて行きたいと思えます。

議会だよりの内容について御意見、御要望がありましたら御遠慮なくお聞かせ下さい。スタッフ一同お待ちしています。

